



箭田っ子だより

学校だより 第5号
令和6年6月21日
倉敷市立箭田小学校

学校教育目標：自ら学び、人・物・自然を大切にする心豊かな子どもの育成

学校経営目標：地域に愛され、一人ひとりの児童が生き生きと輝く、明るく活気に満ちた学校づくりを推進する

ききみみずきん

箭田小学校では、子どもたちのために保護者と地域の方が読み聞かせのボランティアをしてくださっています。グループ名は「ききみみずきん」と言います。昔話の「ききみみずきん」から命名されたと聞いています。現在9名の方が活動してくださっていて、えがお学級と1年生～3年生が第2・4木曜日、時間は8時20分～8時30分の10分間です。4年生～6年生でも、学期に1回活動してくださっています。

教室をのぞいてみると、ボランティアの方の読み方が上手なことや、子どもたちにぴったりの本を選んでくださっていることなどが重なり、ぼかんと口を開け、本の世界に入り込んでいる子どもたちの姿があちこちで見られます。

最近、本離れが言われていますが、小さいときに本に親しむ習慣があるとないのとは、大きな違いが出てくるように思います。本を読むことで、自分以外の人の生き方や考え方に触れ、視野や考え方が広がるということを聞いたことがあります。本に親しむ人になってほしいと思っています。



箭田小の自慢① 6年生の靴箱

箭田小学校にきて感心することがあります。今回は6年生の靴箱を紹介します。毎日といっていいくらい、きちんと靴がそろっています。毎朝靴箱を見ていますが、本当に気持ちいいです。靴箱を見れば、どんなクラスかわかるといわれています。靴をそろえることができるということは、けじめがきちんとついているということです。これからも下学年から憧れられる6年生でいてほしいと思っています。

